

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付金事業の名称	事業の概要・目的	実績・効果	事業始期	事業終期	事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
1	消防活動感染防止対策事業	救急・(水難等) 救助、消火の現場活動部隊の感染防止対策のため、感染防止衣等の資器材を購入する。	現場活動時に感染防止対策を十分に実施することができ、消防力を維持したまま災害活動を継続できたため非常に効果的であった。	令和 2 年 5 月	令和 3 年 10 月	23,353	23,353	R2繰越分
2	生活よりい支援金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業等により収入が減少している世帯を対象に、支援金を支給し、生活困窮世帯の支援を行う。	緊急小口資金貸付決定世帯に対して、支援金を給付することにより、生活困窮世帯の生活基盤の安定維持に効果的であった。	令和 2 年 5 月	令和 3 年 5 月	66,464	66,464	R2繰越分
3	新生児特別定額給付金給付事業	国の特別定額給付金の支給の対象外となる、令和2年4月28日以降に出生した者に対して、給付金(10万円)を支給する。	対象者への給付率が99.5%で、生活に直結する財政支援として需要が高い事業であったため非常に効果的であった。 対象者への給付率：99.5%	令和 2 年 9 月	令和 3 年 7 月	170,090	169,779	R2繰越分
4	路線バス応援事業	市バスは市民の生活にとって欠かせない移動手段であり、感染症予防対策を行ったうえでの、継続的な運行が求められている。県の奨励金の対象外となる部分(フィーダー系統路線)について、支援を行い、継続的な運行を確保する。	運行事業者を支援する事で、感染防止対策や運行便数を維持することができ、市バスの維持確保を行うことができたため、効果的であった。	令和 2 年 9 月	令和 3 年 4 月	232,698	231,506	R2繰越分
5	阿波おどり会館運営費(施設整備費)	阿波おどり会館の空調設備の改修工事を行い換気機能を改善することで、利用者及び従業員の安全を確保し、安心して施設を利用できる環境の整備を行うことで、利用者数の回復を図る。	換気機能が改善し、利用者及び従業員の安全が確保でき、施設を安心して利用していただくことができたため非常に効果的であった。	令和 2 年 12 月	令和 4 年 3 月	65,368	22,167	R2繰越分
6	商業観光施設事業会計補助(阿波おどり会館運営費(施設整備費))	商業観光施設事業会計に繰り出し、阿波おどり会館の施設整備(空調改修工事)に要する費用を交付対象経費とする。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための空調改修を円滑に行うことができたため効果的であった。	令和 2 年 12 月	令和 4 年 3 月	392	392	R2繰越分
7	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)	各学校が感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための取り組みを実施するにあたり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する物品等を購入する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、それぞれの学校の実情に応じて必要となる物品を購入、整備することで、継続的な教育活動が可能となったため非常に効果的であった。	令和 3 年 3 月	令和 4 年 3 月	53,039	26,519	R2繰越分
8	らくらく窓口証明書交付サービス導入事業	マイナンバーカードで各種証明の発行が可能な「らくらく証明交付サービス」を導入することにより、証明書交付窓口の混雑回避を図る。	証明書交付窓口の混雑が回避され、窓口での対応における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減できたことにおいて効果があった。	令和 3 年 3 月	令和 3 年 10 月	2,452	2,452	R2繰越分
9	子ども・子育て支援交付金	地域に拠点を置く子育て支援サービス等施設(事業所)に、マスクや消毒液等の衛生用品を整備することで、利用者及び職員の、感染症予防を行い、施設の継続運営と安心して利用いただける環境を整備する。	消毒液等の物品や備品を購入し、感染拡大防止に繋がった。また、支援した施設からは今後も続けてほしいとの要望があり、効果的であった。。	令和 3 年 3 月	令和 4 年 3 月	19,797	5,990	R2繰越分
10	保育対策事業費補助金(新型コロナウイルス感染症対策支援事業)	保育所や幼保連携型認定こども園等に、マスクや消毒液等の衛生用品や換気対策のための備品等を整備することで、利用者及び職員の、感染症予防を行い、施設の継続運営と安心して利用いただける環境を整備する。	消毒液等の物品や備品を購入し、感染拡大防止に繋がった。また、支援した施設からは今後も続けてほしいとの要望があり、効果的であった。	令和 3 年 3 月	令和 4 年 3 月	38,890	18,287	R2繰越分
11	庁舎等感染対策予防事業	公共施設における感染症拡大防止対策のための物品等を購入する。	会議中の飛沫の拡散を抑え、感染防止に一定の効果があった。	令和 3 年 3 月	令和 4 年 3 月	20	20	R2繰越分
12	新生児特別定額給付金給付事業費	国の特別定額給付金の支給対象外であった令和2年4月28日から令和3年3月31日まで出生した者を対象に、単独事業として新生児特別定額給付金給付事業を令和2年度に実施したものの、本給付金対象者と同年生にも関わらず対象外となった令和3年4月1日に出生した者を対象に、給付金(10万円)を支給する。	対象者への給付率が100%で、生活に直結する財政支援として需要が高い事業であるため非常に効果的であった。 対象者への給付率：100%(目標値：100%)	令和 3 年 4 月	令和 3 年 4 月	500	500	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付金事業の名称	事業の概要・目的	実績・効果	事業始期	事業終期	事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
13	修学旅行キャンセル料等支援事業費	市立小・中学校及び高等学校の修学旅行では感染症拡大の影響のため、中止又は延期となり、旅行のキャンセル料が発生しうる状況となっている。旅行のキャンセル料の助成を行うことで、児童・生徒のいる家庭の負担軽減を図る。	感染拡大地域への旅行を控えることにより、新たな感染者を出さなかつたため非常に効果的であった。 キャンセル料等の保護者負担：0円（目標値：0円）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	1,739	1,500	
14	生活よりい支援金給付事業費	新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業等により収入が減少している世帯を対象に、支援金を支給し、生活困窮世帯の支援を行う。	緊急小口資金貸付決定世帯に対して、支援金を給付することにより、生活困窮世帯の生活基盤の安定維持に効果的であった。 貸付決定世帯数：365世帯（目標値：495世帯）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	10,981	10,981	
15	新型コロナウイルス感染拡大防止啓発事業費	新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ新しい生活様式の再認識を促すため、市民広報を行い啓発活動を実施する。	マスク・消毒液など「新しい生活様式の必需品」の配布により、感染防止対策の啓発に加え、災害時の備えとしても啓発が実施できたため効果的であった。 啓発実施箇所数：89箇所（目標値：80箇所）	令和 3 年 6 月	令和 4 年 3 月	3000	2999	
16	生涯福祉センター整備費	新型コロナウイルス感染症対策として、生涯福祉センターに設置されているチケット券売機を非接触タイプの機種に更新し、より安全・快適な施設運営を図る。	自動券売機を非接触タイプの機種に更新したことで、より安全・快適な施設運営が図られたため非常に効果的であった。 感染症対策実施施設数：1施設（目標値：1施設）	令和 3 年 6 月	令和 3 年 10 月	3,850	3,850	
17	子育て応援チケット事業費	新型コロナウイルス感染症により、マスクや消毒液などこれまでにない出費がかさんでいるなか、小さな子どものいる家庭の経済的支援を行うため、ドラッグストアや飲食店で使用可能なクーポンの購入費用の一部を助成する。	ドラッグストアや飲食店で使用可能なクーポン購入費用を助成することで、コロナ禍の影響で家計が圧迫されている、小さな子どものいる家庭を経済的に支援するこができたため効果的であった。 助成人数：26496人（目標値：26500人）	令和 3 年 6 月	令和 4 年 3 月	168,253	151,427	
18	子ども元気写真展開催費	新型コロナウイルス感染症により社会全体が疲弊している中、子どもの笑顔を題材とした写真展を開催することで、社会を元気づけるとともに、コロナ禍においても子どもが元気に育っている姿を表現する。	元気に育つ子どもを題材にした写真展を開催することで、コロナ禍の影響により閉塞感に包まれるまちを元気づけることができたため効果的であった。 写真展開催日数：32日間（目標値：30日間）	令和 3 年 6 月	令和 3 年 9 月	608	607	
19	妊婦移動支援事業費	妊婦の、公共交通機関を利用することによる新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げるため、公共交通機関以外の選択肢として、タクシーの利用を支援する。	感染すると重症化しやすい妊婦が、タクシーを利用することで新型コロナウイルス感染症罹患を予防することができたため、効果的であった。 対象者への配布率：76%（目標値：75%）	令和 3 年 6 月	令和 4 年 3 月	4,067	3,660	
20	新型コロナウイルスワクチン接種啓発事業費	ワクチン供給体制の不安、予約の手間等により、自ら接種を控える高齢者に対し、チラシ配布や接種手続きの案内などの啓発を実施し、ワクチン接種率の向上を図る。	ワクチン接種啓発チラシを作成し、高齢者に対して配布することで、ワクチン接種率が向上したため効果的であった。 ワクチン接種率86.5%（目標値：85%）※令和4年7月末までにワクチン2回目接種をした65歳以上の高齢者の割合(令和4年3月31日現在)	令和 3 年 6 月	令和 3 年 8 月	3,894	3,893	
21	コロナ危機突破プロジェクト創造支援事業費	新型コロナウイルス感染症の影響による危機を突破するため、民間事業者が中心となって実施する事業を募集し、補助を行う。	民間のアイデアやノウハウを活用した新たなビジネス展開や、次世代の人材育成等の事業を実施することで、地域経済の活性化につながり効果的であった。 実施事業件数：8件（目標値：8件）	令和 3 年 6 月	令和 4 年 3 月	25,047	22,542	
22	阿波おどり開催事業費	400年以上続く徳島の伝統芸能の灯を絶やすることなく、次世代へ受け継いでいくため、新型コロナウイルスの感染症対策をしながら「阿波おどり」を開催する。	阿波おどりを次世代につないでいくため感染症対策を講じた「2021阿波おどりニューノーマルモデル」を開催することができ効果的であった。 公演来場者数（3日間）：2,827人（目標値：3,000人）	令和 3 年 6 月	令和 3 年 10 月	3,950	3,950	
23	阿波おどり会館整備費	新型コロナウイルス感染症対策として、阿波おどり会館に設置されているチケット券売機を非接触タイプの機種に更新するとともに、セミセルフ決済システムを導入することにより、より安全・快適な施設運営を図る。	目標値を5ポイント上回り、コロナ禍における安全な施設利用に貢献したため効果的であった。 施設利用者満足度68%（目標値：63%）	令和 3 年 6 月	令和 3 年 10 月	10,571	10,571	
24	新生活様式対応住宅リフォーム支援事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活様式が提唱されている中、住宅の耐久性や質の向上、感染防止対策を図るリフォーム工事に対して補助金を交付する。	交付条件に新型コロナウイルス感染症の対策となる工事を必須工事とし、生活空間における感染対策に貢献したことに加え、補助件数も目標値を上回ったため効果的であった。 補助金交付件数：111件（目標値：100件以上）	令和 3 年 6 月	令和 4 年 3 月	8,974	8,973	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付金事業の名称	事業の概要・目的	実績・効果	事業始期	事業終期	事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
25	教育支援体制整備事業費交付金	新型コロナウイルス感染の長期化等の状況を踏まえ、早急に必要物品を確保し、市立幼稚園20か所に配布することで、引き続き基本的な感染症対策を徹底し、感染拡大防止を図る。	保健衛生用品を各幼稚園に対して配布したことで、園内における感染拡大を抑制することができたため効果的であった。 配布幼稚園数：20園（目標値：20園）	令和 3年 6月	令和 4年 3月	10,000	4,500	
26	職員給与費（コロナ特殊勤務手当）	職員が、新型コロナウイルス感染症から市民等の生命及び健康を保護するために緊急に行った措置に係る救急業務や消毒業務に従事した場合に、職員の特殊勤務手当として防疫等業務手当を支給する。	感染症に対する救急事案等に対して適切な対応ができ、市民の安全安心の確保につながることでため効果的であった。 支給対象者数（延べ）：5,072人（目標値：4,604人）	令和 3年 4月	令和 4年 3月	16,956	15,200	
27	商業観光施設事業会計補助	商業観光施設事業会計が委託している指定管理者がコロナの影響により収入が減少していることから、指定管理業務継続支援のため、指定管理者から徴収する固定納付金を減免し、当該減免実施に対し、市長部局から企業会計へ補助する。	事業者を支援することで、コロナ禍における事業の継続及び施設の維持管理を円滑に行うことができたため非常に効果的であった。 支援施設数：4施設（目標値：4施設）	令和 4年 3月	令和 4年 3月	161,003	161,003	
28	指定管理業務継続支援事業費	感染拡大による利用者の減少により収入が減少する一方、感染症の予防及び拡大防止等のために新たな経費負担が必要となっている公の施設の管理者を支援する。	事業継続に困っている事業者を財政面で支援することにより、業務を継続することができたため効果的であった。 支援する公の施設の管理者数：9者（目標値：9者）	令和 4年 3月	令和 4年 3月	60,286	60,286	
29	徳島市役所本庁舎手洗水栓取替修繕費	市役所本庁舎のトイレの水栓をタッチレスに入れ替え、接触機会を減らすことにより、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。	市役所本庁舎のトイレの水栓をタッチレスに入れ替え、接触機会を減らすことができたため非常に効果的であった。 タッチレス水栓設置箇所：107箇所（目標値：107箇所）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	6,093	6,092	
30	福祉避難所運営体制強化事業費	本市指定福祉避難所用の新型コロナウイルス感染症対策としてパーテーション等の資機材を購入し、保管を希望する福祉避難所の社会福祉施設等に配備し、必要時に活用できるようにする。	テント型パーテーション等の整備により、福祉避難所の感染症対策を推進することができたため効果的であった。 資機材配備施設数：36施設（目標値：41施設）	令和 3年 9月	令和 4年 2月	8,269	5,269	
31	高齢者元気づくり応援事業費	新型コロナウイルス感染症により外出機会が減ることで、高齢者の心身機能や認知機能が低下し、要介護の一手手前の「フレイル（虚弱）」に陥ることが懸念されているため、介護予防手帳のツールを利用して、自らフレイル予防を実行できるよう支援を行う。	事業に参加した方に、介護予防手帳とふれあい健康館回数券（15枚つづり）を贈呈し、介護予防に取り組んでいただけため効果的であった。 フレイル予防実施者数：383人（目標値：400人）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	5,212	5,211	
32	母子家庭等対策費補助金	多くのひとり親家庭が養育費を受け取っていない現状があることから、養育費を確保するための支援を行う。	離婚時に養育費の取り決めを行うことができ、今後の経済的な安定に効果的であった。 支援人数：5人（目標値：2人以上）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	75	37	
33	とくま新鮮・食の魅力再発見事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により、営業不振の状況に陥っている市内の飲食業者等を対象に、徳島産食材を使った新メニューの開発、提供、新メニューを使った徳島産食材のPRにかかる費用を支援する。	当初予定していた事業者数の9割以上の事業者（75事業者）に支援することができ、多くの事業者の事業継続を支援することができた。また、それらの事業者は今回の交付金事業に参加したことにより新商品を開発しており、このことは交付金事業実施終了後の各事業者の事業継続にも役立つため効果的であった。 補助事業数：75事業者（目標値：70事業者以上）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	8,717	7,845	
34	阿波おどり「絆」強化事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や開催方法の変更を余儀なくされた「阿波おどり」について、アフターコロナを見据えPRするPVの制作、支援者データベースの作成を行う。	阿波おどり観光プロモーション動画（多言語）を製作し国内外に情報発信し、継続的なPRに効果的であった。 動画制作数：12本（目標値：3本）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	6,446	6,446	
35	モラエス魅力発信事業費	徳島市にゆかりのある作家、モラエス氏に関する資料展示を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により来場者が減少すると共に、展示品の経年劣化が進行しているため、展示品のデジタル化及びHP等での紹介を進める。	資料の保存・継続を行うためにデジタルアーカイブ化し、魅力を広く国内外に情報発信したことが効果的であった。 展示品デジタル化資料点数：206点（目標値：110点）	令和 3年 9月	令和 4年 3月	2,666	2,665	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付金事業の名称	事業の概要・目的	実績・効果	事業始期	事業終期	事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
36	孤独・孤立対策事業費	コロナ禍における社会変化に対応した児童・生徒の自殺予防に取り組むことが急務になっていることから、講師を招聘してCLPプログラム（子どもたちの孤独・孤立・自殺といった問題を防ぐためのワークショップ形式の教育プログラム）を実施し、SOSの出し方教育を含む自殺予防教育の実施や相談しやすい環境づくりを進める。	子どもたちの孤独・孤立・自殺を防ぐためのSOSの出し方を学べたことは、効果的であった。 実施校数：小中各1校（目標値：1校）	令和 3 年 9 月	令和 4 年 3 月	40	40	
37	路線バス応援事業費	感染防止対策等を徹底しながら利用者の密集・密接を避け、運行便数を維持する市バス路線運行事業者に対し、補助金を交付することにより、社会基盤としての公共交通等の維持確保、地域経済及び住民生活の維持確保を図る。	事業者を支援する事で事業期間中に、運行便数を維持することができ、市バスの維持確保を行うことができたため、効果的であった。 市バス路線の減便数：0便（目標値：0便）	令和 3 年 11 月	令和 4 年 3 月	205,598	174,783	
38	生活再建支援金支給事業費	新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者のうち、各種の支援施策を活用しても困窮状態が続く世帯や、要件等の制約により対象とならない世帯に対し、困窮状態の緩和および自立支援を目的に、支援金を支給する。	概ね目標世帯数に支援金の支給が出来、生活困窮が継続している世帯に支援ができたため、効果的であった。 支援世帯数：956世帯（目標値：1,000世帯）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	29,240	29,000	
39	子ども見守り宅食緊急支援金事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て世帯のおかれている状況が益々厳しいものとなってきたことから、お弁当の宅配を通じ子どもの見守りを実施している対象世帯を拡大し、子どもの見守り強化を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭で過ごす時間が増えた気になる家庭について、お弁当の宅配を通じ子どもの見守りや困りごと等を把握することができたため、効果的であった。 支援世帯数：85世帯（目標値：9世帯以上）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	0	0	
40	年末・年始子ども食堂支援事業費	新型コロナウイルス感染症により外出自粛が長期化する中、子どもの居場所として開設される「子ども食堂」に対し、年末・年始に必要な食材費・食料費を補助する。	子どもの居場所である「子ども食堂」に対して、年末年始に購入する食材費を支援することで、コロナ禍においても、クリスマスや正月明るく子ども食堂で楽しく利用してもらうために必要な食材費等の補助であることから効果的であった。 支援団体数：3団体（目標値：9団体）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	1,293	1,163	
41	子育て世帯生活応援給付金事業費	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対し、食費等の支出増加を勘案し、給付金を支給する。	国の給付金に上乗せで支給することにより、低所得の子育て世帯に対するより効果的な支援となったため効果的であった。 支援児童数：5,805人（目標値：5,783人）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	174,822	174,800	
42	企業とちから阿波せる支援金給付事業費	新型コロナウイルス感染症の影響により、セーフティネット保証等の認定を受けた事業者のうち、事業収入が前年比20%以上減少している事業者に対して支援金を支給する。	コロナの影響により資金繰りが悪化した事業者（セーフティネット保証等認定事業者）を対象に現金を支給する事業であり、また支給件数も目標を上回ったことから効果的であった。 支援金支給件数：1,147件（目標値：1,088件）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	115,111	103,599	
43	観光施設整備費	市観光施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、自動水栓化や除菌空調設備への変更や感染対策・除菌仕様の備品の導入を進める。	感染症対策として手洗い器の自動水洗化や除菌空調設置など受け入れ環境の整備、利便性の向上に非常に効果的であった。 感染症対策実施施設数：2施設（目標値：4施設）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	19,751	19,751	
44	消防活動感染防止対策事業費	災害活動時および救命講習時の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のための備品を購入する。	現場活動時に感染防止対策を十分に実施することができ、消防力を維持したまま、災害活動を継続できたため、非常に効果的であった。 救命講習時に、受講者ごとに講習物品を貸与でき、受講者同士の感染防止対策に非常に効果的であった。 救急活動及び救命講習実施による職員・受講者の感染件数：0件（目標値：0件）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	3,531	3,531	
45	消防広報強化事業費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人と人との接触頻度が減った状況下においても、IT技術の活用により、発信力の高い広報活動を推進する。	SNSでの動画や情報発信のために必要な機器を整備することで、継続的な広報活動及び防火・防災に関する情報を発信することができ、非常に効果的であった。 SNSでの動画及び写真投稿数：210件/年（目標値：200件/年）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	1,237	1,236	
46	学校保健特別対策事業費補助金（小学校）	市内小学校において、児童の学習環境を保障するため、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、それぞれの学校の実情に応じて必要となる物品を購入、整備することで、継続的な教育活動が可能となったため非常に効果的であった。 支援学校数：27校（目標値：27校）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	3,873	1,743	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	交付金事業の名称	事業の概要・目的	実績・効果	事業始期	事業終期	事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
47	学校保健特別対策事業費補助金（中学校）	市内中学校において、生徒の学習環境を保障するため、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、それぞれの学校の実情に応じて必要となる物品を購入、整備することで、継続的な教育活動が可能となったため非常に効果的であった。 支援学校数：15校（目標値：15校）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	2,149	967	
48	学校保健特別対策事業費補助金（高等学校）	市内高等学校において、生徒の学習環境を保障するため、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する。	感染症対策用物品の購入により、感染症対策を実施しながら学校教育活動の円滑な運営を行うことができたため効果的であった。 支援学校数：1校（目標値：1校）	令和 3 年 12 月	令和 4 年 3 月	1,035	517	
49	GIGAスクール学習環境整備事業費（小学校）	災害や感染症の拡大等による臨時休校等の緊急時においても、ICTの活用により学びの機会を保障するため、「GIGAスクール構想」に基づき1人1台端末を市内小学校において実現したが、端末等の修繕に備えるとともに、ICT支援員の活用により、環境整備を行う。	感染症の拡大による臨時休校時において、ICT支援員を活用することによりオンライン授業実施の補助を行うとともに、端末の軽微な修繕を行うことができたため、非常に効果的であった。 市内全小学校におけるICT支援員配置頻度：週1日（目標値：週1日）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	13,090	13,090	
50	GIGAスクール学習環境整備事業費（中学校）	災害や感染症の拡大等による臨時休校等の緊急時においても、ICTの活用により学びの機会を保障するため、「GIGAスクール構想」に基づき1人1台端末を市内中学校において実現したが、端末等の修繕に備えるとともに、ICT支援員の活用により、環境整備を行う。	感染症の拡大による臨時休校時において、ICT支援員を活用することによりオンライン授業実施の補助を行うとともに、端末の軽微な修繕を行うことができたため、非常に効果的であった。 市内全小学校におけるICT支援員配置頻度：週1日（目標値：週1日）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	6,051	6,050	
51	ICT支援事業費	災害や感染症の拡大等による臨時休校等の緊急時においても、ICTの活用により学びの機会を保障するため、「GIGAスクール構想」に基づき1人1台端末を市立高等学校において実現したが、ICT支援員の活用により、教員のICT機器活用力・指導力の向上を行う。	ハードウェアやソフトウェアの基本的な利用方法から授業における活用方法等まで幅広い支援を教員に行うことができたため非常に効果的であった。 市立高等学校におけるICT支援員派遣回数：45回（目標値：62回）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	355	300	
52	本庁舎会議室オンライン会議対応整備修繕費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大時にも、事業の遂行を円滑に行うため、遠隔地とのオンライン会議の環境を整備する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大時にも、事業の遂行を円滑に行うことができるよう、遠隔地とのオンライン会議の環境を整備したため非常に効果的であった。 オンライン会議環境を整備する部屋数：10室（目標値：10室）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	2,253	2,252	
53	消毒用アルコール物品購入費	新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底するため、庁舎内に手指消毒用アルコールに設置する。	各出入口に消毒液を設置したことで、外部から持ち込まれる感染源を一定程度防ぐことができたため非常に効果的であった。 本庁舎内手指消毒用アルコール設置箇所数：11箇所（目標値：11箇所）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 2 月	375	374	
54	家庭用生ごみ減量モニター事業費	新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化により、家庭から出るゴミの量が増えている状況を踏まえ、生ごみ処理機の試験的導入および市民モニターによる調査により、ステイホーム下の家庭ゴミの減量を図る。	生ごみ処理機を市民に配布し、モニター調査を実施したことにより、家庭での生ごみ減量が図られることが実証されたため、非常に効果的であった。 市民モニター数：20世帯（目標値：20世帯）	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	220	198	
55	子育て世帯への独自給付金事業費	新型コロナウイルス感染所の対策の一環である「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」の支給に関し、離婚が原因で給付金が支給されない者について、給付金を支給する。	離婚家庭への給付は実際に子どもを育てている方への必要とする給付であるため効果的であった。 対象者への給付率：100%（目標値：80%以上）	令和 4 年 1 月	令和 4 年 3 月	46,131	46,130	